

夏休みの宿題をやめます

今年から、羽幌中学校では
長期休業（夏休み・冬休み）には
学校から各教科の宿題は出さずに
子どもたちの主体性に委ねます

課題をつかむ
(振り返り)



- ・難しかった教科は何かなあ…
- ・この単元が苦手だったなあ…
- ・テストの振り返りで課題を見付けよう！

見通しをもつ
(計画・企画)



- ・毎日、コレに取り組もう！
- ・アゲができるようにガンバるぞ！
- ・分かるようになるまで取り組むぞ！

行動を起こす
(実践)

今年は、充実した夏休みを
過ごせているぞ！



結果を出す
(自己評価)



- ・わかるようになった！
- ・できるようになった！

成功体験

主体性の向上
自己肯定感の高まり
自律できる中学生

2学期以降の日常的な学習習慣へ

【よくある心配事 その1】

「宿題がないと勉強しないんじゃないの？」
→自分でこれまでの取組を振り返って必要だと思って考
えた課題は、与えられた宿題よりも意欲が高くなる！
…はずです。

【よくある心配事 その2】

「ウチの子は、ちゃんと計画立てられるのかな？」
→課題をつかむのが苦手な子は、先生と共に考えます。

【よくある心配事 その3】

「先生が考えた宿題の方が学力向上になるのでは？」
→覚える力や理解する力、生活経験で得た能力など、
一人一人違う能力をもっているため、一律の宿題を
出すことは、逆に子どもの意欲を低下させたり、伸
びるチャンスを奪ったりする可能性もあります。



©藤子プロ・小学館

今年度の学校づくりプラン(学校経営方
針)において、学校目標を達成させるため
のポイントの3つ目に「主体的な学びを育
むための授業改善」を設定しました。

その具体として…

- ◆「先生にやらされる授業」から
「自分から学びとる授業」への変換
- ◆テストや宿題の本質的な見直し
を掲げています。

夏休みと冬休みは、当たり前ですが教科
書は進みません。つまり、この期間は自分
の長所を伸ばしたり、苦手を克服したりす
る最大のチャンスだということです。その
ため、1学期・2学期の学習について、そ
れぞれ自分の学び方や定着度をしっかりと
振り返り、休み中には「〇〇ができるよ
うになる」「〇〇が分かるようになる」と
いう具体的な目標を明確にした上で、一人
一人が、必要な学習内容と、それに費やす
時間についての計画を立て、主体的に実践
することができる、これが理想であり、本
校が目指している子どもの姿です。

**ここに全員一律の宿題は、もはや必要あ
りません。**

ご家庭におかれましては、お子様が考
えた計画をご覧になり、前向きに応援してあ
げてください。

初めての取組なので、ウマくいかないこ
ともあると思われます。しかし、今の羽中
生は、自分を高めたいという強い志をもっ
ていると信じています。 【校長】

夏休み中の勉強で困ったことがあったら、先生方に相談してください！

※学校閉庁期間中(8/11~15)は対応できません。